

「学校教育目標」と「令和2年度重点目標」に向けて

- ・創立以来、93年に及ぶ女子教育の歴史と伝統の上に立ち、変化してゆく現代社会にあって、校章の野ばらのごとく「清らにつつましく、踏まれても、刈られても、たくましく、美しく」生きていく意欲と感性豊かな人間の育成に努め、生徒一人ひとりの知的・道徳的・芸術的・身体的な能力を最大限に伸ばし、調和のとれた人間の形成を図る。
- ・『常に前進！ Day By Day（一日一日）』

豊かな人間性

- ・HR活動、生徒会、各種委員会や部活動などの特別活動を総合的に振興し、自主的で活気のある校風の下、心豊かな人間の育成を図る。

健康・体力

- ・基本的な生活習慣を確立し、自主的な態度の育成を図り、意欲的に学習活動に取り組み、自律的にして責任ある生活態度の育成に努める。

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ・個に応じた教育により、確かな学力が定着し、進路実現できる。
- ・基本的な生活習慣の定着と規範意識の高揚により、自己を確立できる。
- ・特別活動の活性化により、豊かな人間性を培うことができる。
- ・国際理解教育の推進により、国際人としての素養を涵養することができる。

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ・生徒の適性、能力、希望に応じた進路が実現する。
※進路希望決定率100%
- ※インターンシップ参加者30名以上
- ・国際理解教育により、国際社会に生きるための資質を身に付けている。
※年間英検受験者数：2級40名以上、準2級100名以上

子供の実態

- ・理解力に差のある生徒が増えてきた。
- ・進路希望が多岐にわたる。
- ・基本的な生活習慣が身に付いていない生徒、ルール・マナーの欠如した生徒が見られる。
- ・社会体験の不足や集団のために働く意欲の低下が見られる。
- ・学校での人間関係等に起因する心身の不調により、登校が難しくなる生徒が見られる。

子供の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- ・保健室や学年・担任相互の緊密な連携により、生徒の現状を把握する。
- ・スクールカウンセラーとの連携を深めるとともに、予防啓発的な活動も積極的に行っていく。

目指す子供の姿

- ・しとやかな身だしなみに基づき、温順に快活な生活習慣を身に付けている。
- ・清らに美しく生活するために、全員清掃による美化活動に努めている。
- ・自主的・主体的な部活動や生徒会活動により、心身共に調和のとれた生徒になっている。
- ・英語を学ぶ・英語で学ぶ・ともに学ぶ姿勢で、「おもてなし英語」を身に付けている。

何を学ぶか

○教育課程の編成

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努める。
- ・令和4年度からの新学習指導要領に基づく、新教育課程の確定。
- ・県立学校改革基本プランに沿った継続的検討を進める。

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- ・学び直しや基礎学力の定着により、自ら意欲的に進路実現を目指す。
- ・集団の一員としての自覚を高め、他者と協働しながら課題に挑戦して解決することができる力を付ける。
- ・英語によるコミュニケーションの機会が創出されることにより、英語を使いながら学ぶ体験的な学習が行われる。
- ・海外短期留学や外国からの留学生との交流を通して実践的コミュニケーション力をつけるとともに異文化理解を促進する。

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協議

- ・公開授業や相互授業参観の実施など、学習指導の質的向上を目指した校内研修体制の充実を図る。
- ・生徒と向き合う時間の確保に努め、適切な助言指導力の向上を目指す。
- ・「チャレンジ・プロジェクト事業」を通して、生徒に寄り添った体験学習を実践し、進路意識の高揚に努める。
- ・共に学び、共に汗をかく「師弟同行の精神」を貫く。

安心・安全を守る

- ・自己の健康について関心を持つように、保健だよりの活用や教科との連携を図る。
- ・清掃の徹底を図り、学習環境の整備に生徒が自ら積極的に取り組む姿勢を育てる。

開かれた学校作り

- ・「本校を知ってもらって、来てもらって、見てもらって、体験してもらって、受けてもらって、入ってもらって」という一連の流れの中での広報活動を実践する。
- ・「地域の中の学校」として、地域に向けた情報発信力を高め、中学校への出前授業などをおして、本校の魅力と特色を一層強く打ち出し、受検生の獲得に努める。